

中野市介護保険事業運営協議会 会議録

審議会等の名称	中野市介護保険事業運営協議会
担当課（連絡先）	健康長寿課 介護保険係 地域包括支援センター 支援係
開催日時	平成21年6月19日（金）午後1時30分から2時18分
開催場所	中野保健センター会議室
出席者	丸谷和洋委員、金山弘委員、牧下英夫委員、田村安則委員、豊田嘉美委員、石塚豊委員、海老原稔委員、三井寛委員、西澤啓行委員、春原良知委員
出席者（市側）	田中健康福祉部長、渡辺課長、関地域包括支援センター支援係長、中島介護保険係長 和田長寿支援係長、土屋主査、中村保健師
会議資料	次第
会議内容	<p>会議事項</p> <p>（1）地域包括支援センターの運営に関すること</p> <p style="padding-left: 40px;">中野市地域包括支援センター事業（地域支援事業）平成20年度実績について 説明（次第に沿い各係担当部門ごとに関地域包括支援センター支援係長、 和田長寿支援係長、中島介護保険係長説明）</p> <p style="padding-left: 40px;">中野市地域包括支援センター事業（地域支援事業）平成21年度計画について 説明（関地域包括支援センター支援係長）</p> <p>委員：地域包括支援センターの事業内容の中で、市で直接的に行っている事業と社協に委託している割合は。</p> <p>市：家庭介護者交流会を社協に委託しており、28万円程度の事業費であります。</p> <p>委員：資料のP1にある3,382人のうち特定高齢者事業の該当者は何名くらいですか。</p> <p>市：特定高齢者として該当となった方は1,808人となっております。</p> <p>委員：権利擁護事業で虐待相談件数が2件実績で上がっているが、差し支えなければどのような内容であったか教えていただきたい。</p> <p>市：いずれの問題も現在は解決していますが、擁護者が高齢者に対し暴力をふるった等の事例であり、擁護者と高齢者を分離し、擁護者や親戚の方などを含め粘り強く相談を行っていった。また介護サービス受給者については事業所と連絡を取りながら状況確認等を行い、現在は落ち着いた様子となっております。</p> <p style="padding-left: 40px;">身体的な問題であったため、市として介入させていただきました。</p> <p>委員：一般高齢者健康づくり事業についてであるが、社協で行っている同様の事業を把握していますか。</p>

中野市介護保険事業運営協議会 会議録

市：社協で行っている事業は把握しておりません。

市でも公民館等に高齢者の皆様に足を運んでいただき、仲間意識や継続性などを図りながら、難しいものではなく、普段できるような内容について取り組んでいます。

委員：社協で行っている事業で講師を依頼するときに講師料が高額でより良い講師が呼べないことがある。社協と合同で連携して事業を行ってくれば、良い講師に依頼ができ、より良い事業が展開していけると思うがどうか。来年度から進めてみてはどうでしょうか。

市：貴重なご意見として参考にさせていただき、関係者と協議を行い検討してまいりたいと思います。

委員：配食サービスは、JAに委託しているのか。

市：市内の飲食店、JA等7事業所に委託し、料理の配達と安否確認をお願いしています。

委員：シルバー人材センターで働いていた時に、JAの配食サービスの仕事をしていたことがあったが、配達時に声をかけたが返事がなくコタツで倒れており消防・警察を呼んだことがあった。

その当時、JAからは安否確認してくるようには、聞いていなかった。委託業者へ徹底するように再度お願いしたほうがよいのでは。

会長：配食サービスの一つの目的としての安否確認について、徹底させるべきでは。

市：配食サービス時の安否確認については、改めて徹底して参ります。

(2) 地域密着型サービス及び地域密着型介護予防サービスの運営に関すること サービスの指定・利用状況について

説明(中島介護保険係長説明)

平成20年度の指定関係、地域密着型サービスの利用状況について説明

(4) その他

渡辺課長より、地域密着型サービス事業所の更新指定については、正副会長に一任により更新手続を行ってまいりましたが、今年度も引き続きその方向で行ってまいりたいのでよろしくお願ひしたい旨の説明をし全員了承された。

また、第4期介護保険事業計画の中で、今年度はグループホーム2ユニットの建設を予定していること。それに伴う事業所指定の案件が出てきた場合には、会議を開催させていただき、委員の皆様の意見を頂戴したい旨説明し全員了承された。

中野市介護保険事業運営協議会 会議録